

「第2回 チャートランド博士セミナー」



『Counseling』（邦題「聴覚補正におけるカウンセリングの実際」）の著者、Max S. Chartrand 博士によるセミナーを開催します。 前回は平成 19 年 7 月 7 日神戸市産業振興センターにて『補聴器カウンセリングにおける神経生理学的考察』を開催し、自ら重度難聴を持ちながら、聴覚カウンセリングの第一線で活躍される博士の実践理論によって感銘を与えました。

今回の内容は、日本の参加者から最もリクエストの多かった博士の頭書『聴覚補正におけるカウンセリングの実際』を基に構成されております。内容の一部を以下にご紹介します。

例えば、以下のように前向きに補聴器に取組もうとしない難聴者にどのように対処すべきか、グループ参加形式でケースを検証してみたいと思います。

- ・ 自らの難聴を受入れず、未処置のままの人は健康面、社会的にも影響が大きい。難聴による特有の不便さを理解しようとならない人に、補聴器関係者が前向きな対応を勧める事は容易な事ではない。
- ・ あまりにも多くの難聴者が僅か 500 円程度のプラスチック製の機器が 20～30 万円もすると思っている。聴こえない事の代償がどれほどに大きいかと言う事も理解していない。
- ・ 補聴器をつけることで身体的欠陥があると思われたくないし、また自分自身でもそういうことにとらわれたくない。補聴器は老いと同義語だと思っている。

日本からのリクエストの一つに『フィッティング後の評価について』というものがありました。マニュアル通りにフィッティングして、データを採って効果を検証するものの、実際に難聴者の耳の機能や心理的要素から、データで確認されたフィッティングの整合性がどの程度なのか。この課題は、我々にとっても大きなチャレンジの一つです。日本のセミナーでは是非お話ししましょう。

前回セミナーと同様に、講演の最後に、博士が自らサクスの演奏をされます。そのナンバーの多くは博士が聴力を失って以降に作曲されたものであり、重度難聴では到底困難と思われる、音色やリズムの正確さには驚嘆します。博士によると、『幼少時からの音楽教育が、重度難聴であっても健聴者と変わらない能力を培うのに役立っているのです。』との事です。

自ら重度難聴を克服し、難聴者、難聴カウンセラー、両方の立場からの金言は聴く者に勇気を与え、実体験に基づく確かな実践論は、難聴業界に関わる我々にその方向性と未来を明示します。業種、職種に関わらず、広くご参加下さい。

記

開催日：平成21年7月8日(木)

場所：神戸市産業振興センター 9階 901号会議室
神戸市中央区東川崎町1-8-4 (078)360-3220 <http://www.kobe-ipc.or.jp/access/>
(JR神戸線 神戸駅 または神戸市営地下鉄海岸線 ハーバーランド駅 徒歩10分)

内容：第1部「難聴者の心の内側を探る」 11:00～14:30 (休憩 12:30～13:00)
(財)テクノエイド協会指定講習会認定 対象:技能者講習会修了者・認定補聴器技能者
第2部「効果的なフィッティング:難聴者のQOL向上を目指して」14:45～18:00 (休憩 16:15～16:30)
(財)テクノエイド協会指定講習会認定 対象:基礎講習会修了者・技能者講習会修了者

※チャートランド博士主導により、実際の事例を題材にした、カウンセリングロールプレイを参加者全員で行います。斬新な試み、且つ即業務で活かせる実践形式のものです。是非積極的にご参加下さい。

懇親パーティー

19:00 ～ 神戸市産業振興センター10階 レセプションルーム

参加費：セミナー

	IHS 会員	JHIDA-NPO	その他
第1部(11:00～14:30)のみ	3,000円	4,000円	5,000円
第2部(14:45～18:00)のみ	3,000円	4,000円	5,000円
第1部2部ともに出席(弁当付)	5,000円	6,000円	8,000円
懇親パーティー (19:00～)	3,000円		

※昼食について：第1部又は第2部のみ出席の方には弁当の無料配布はございません。

弁当は1ヶ¥1000ーで、予約を受け付けております。

昼食休憩は30分と短い為、周辺での食事はお勧めできません。

お申込：添付のFAX申込用紙か、ホームページ www.ihsjapan.com の『セミナー申込フォーム』からお申込下さい。